

札幌国際芸術祭 2020

SIAF2020 ディレクターズトーク第1弾

はじめまして、私たちが企画
ディレクターです。天野太郎
とアグニエシュカ・クビツカ＝
ジエドシエツカです。

2018.12.8

Taro Amano

Agnieszka Kubicka - Dzieduszycka

3回目となる札幌国際芸術祭2020(略称:SIAF2020)は、2020年度の冬季に開催されます。現代の世界の状況や変化を捉える現代アートとメディアアートの作品を、冬の札幌で皆さんに楽しんでいただくため、専門性を持った複数のディレクターからなるチームを中心に、SIAF2020に向けた準備を進めています。

どのような芸術祭になるのでしょうか。その鍵を握るのが、2人の企画ディレクター、天野太郎とアグニエシュカ・クビツカ=ジェドシェツカです。

今回のトークでは、2人のこれまでの活動やSIAF2020への意気込みのほか、出身地の文化・食などを語ります。開催まで約2年、いよいよここからSIAF2020が始動します。

SIAF2020 ディレクターズトーク第1弾

スピーカー:

天野 太郎 あまの たろう

統括ディレクター／企画ディレクター(現代アート)

横浜市民ギャラリーあざみ野首席学芸員。多摩美術大学などで非常勤講師を務める。美術評論家連盟所属。北海道立近代美術館勤務を経て1987年の横浜美術館開設準備室より同館で、国内外での数々の展覧会企画に携わる。「横浜トリエンナーレ2005」でキュレーター(2011年2014年はキュレトリアル・ヘッド)を務めた。SIAF2020では、ディレクターチームの統括も務める。

ファシリテーター:

細川 麻沙美 ほそかわ あさみ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 統括マネージャー

スピーカー:

アグニエシュカ・クビツカ=ジェドシェツカ

企画ディレクター(メディアアート)

ポーランド在住。メディアアートを専門とするキュレーター。WROメディアアートセンター財団*の一員で、ポーランドのメディアアート界を牽引する「WROメディアアートビエンナーレ」に長年にわたり携わる。2016年から2017年にかけてWROアートセンターで開催された日本のメディアアート展「Reversible // Irreversible // Presence」に携わるなど、日本のメディアアーティストとの関わりも多い。

*現代美術、メディア、コミュニケーションを専門とするポーランドの民間公益団体。

Taro Amano x Agnieszka Kubicka - Dzieduszycka

SIAF2020 1ST DIRECTORS' TALK

日時 / 2018年12月8日(土) 14:00-16:00(13:30開場)

会場 / 札幌市立大学サテライトキャンパス 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階

定員 / 50名(先着順)

申込 / 11月12日(月)から下記お問い合わせ先へ電話

または申込フォーム(<http://siaf.jp/181208-2/>)で受付

言語 / 日本語・英語(逐次通訳あり)



参加無料

SIAF2020

札幌 国際芸術祭

Sapporo International
Art Festival

札幌国際芸術祭 <http://siaf.jp>

札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival 略称:SIAF)は、2014年に初開催し、以降3年に一度開催される芸術の祭典です。過去2回は夏から秋にかけて開催してきましたが、3回目は2020年度の冬季に開催します。札幌の特徴である寒冷な気候や豊富な雪に加え、北方圏の文化などを取り扱い、現代アートやメディアアートの紹介などを通じて、札幌の魅力を広く国内外に発信していくとともに、市民とアート関係者との交流や、新たな気づき・学びの場となることで市民の創造性を生かしたまちづくりにつなげていきます。

お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局

札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階 札幌市市民文化局 国際芸術祭担当部内

TEL / 011-211-2314(平日8:45-17:15) E-mail / info@siaf.jp

主催 / 札幌国際芸術祭実行委員会・札幌市 助成 / 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



[次回のディレクターズトーク]

2019年2月3日(日)、アグニエシュカ・クビツカ=ジェドシェツカが、札幌におけるメディアアートの可能性について語ります。*詳細はウェブサイトでお知らせします。